



第45回

名古屋国際音楽祭

2021年エリザベート王妃国際コンクールにダブル入賞!
世界が認めた地元出身のピアニストたちと、
川瀬&名フィルが贈る祝祭コンサート



Keigo Mukawa

Kentaro Kawase

Tomoki Sakata

©Yoshinori Kurosawa

©Hideki Namai

名古屋国際音楽祭

オープニング・ガラ・コンサート

～飛翔する若きピアノの巨匠たち～

ピアノ 務川慧悟*、阪田知樹**
指揮 川瀬賢太郎
管弦楽 名古屋フィルハーモニー交響楽団

Program

シューマン ピアノ協奏曲 イ短調 Op.54 *
グリーグ ピアノ協奏曲 イ短調 Op.16 **
モーツァルト 2台のピアノのための協奏曲
変ホ長調 K.365(316a)

5/20

金 18:45開演(18:00開場)

愛知県芸術劇場コンサートホール

S席 7,500円 A席 6,500円 B席 5,500円
C席 4,500円 D席 3,500円

※車椅子のお客様はご購入前にアイチケットまで必ずお問合わせください。
※入場料金には消費税が含まれます。
※やむを得ない事情でプログラム内容、出演者など変更になる場合がございますのでご了承ください。
※未就学児のご入場はご同伴の場合でもお断り致します。

チケットのお求めは 一般発売1月20日(木)

- アイチケット 0570-00-5310
<https://clanago.com/i-ticket>
- チケットぴあ <https://t.pia.jp> +Pコード 206-337
- ローソンチケット <https://l-tike.com> +Lコード 43942
- e+(イープラス) <https://eplus.jp>
- 芸文プレイガイド 052-972-0430
- 名鉄ホールチケットセンター 052-561-7755
- 栄プレチケ92 052-953-0777

最新情報は、CBCテレビのホームページで
ご確認ください。 CBC 名古屋国際音楽祭 検索



国および自治体・会場の新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインに則り開催いたします。
予めご了承の上、チケットのご購入や当日のご来場をお願い申し上げます。

お問合わせ

CBCテレビ 事業部

TEL (052) 241-8118 10:00~18:00(土・日・祝日休み)

名古屋国際音楽祭 オープニング・ガラ・コンサート ～飛翔する若きピアノの巨匠たち～

当音楽祭だからこそ実現したガラ・コンサート。
2021年エリザベート王妃国際コンクール入賞の2人による
コンチェルトと2台ピアノ協奏曲に、乞うご期待!



務川 慧悟 Keigo MUKAWA

1993年愛知県東海市生まれ。愛知県立旭丘高等学校卒業。東京藝術大学1年在学中の2012年、第81回日本音楽コンクール第1位受賞を機に本格的な演奏活動を始め。2014年パリ国立高等音楽院に審査員満場一致の首席で合格し渡仏。パリ国立高等音楽院第2課程ピアノ科、室内楽科を修了し、第3課程ピアノ科(Diplôme d'Artiste Interprète)、同音楽院フォルテピアノ科に在籍。
2019年ロン＝ティボー＝フォルスパン国際コンクールにて第2位入賞。2021年エリザベート王妃国際コンクール第3位入賞。
2015年エピナル国際ピアノコンクール(フランス)第2位。2016年イル・ドゥ・フランス国際ピアノコンクール(フランス)第2位。コープ・ミュージック・アワード国際コンクール(イタリア)ピアノ部門第1位、各部門優勝者によるファイナルにて第2位、聴衆賞を受賞。2018年秋に開催された第10回浜松国際ピアノコンクールにおいて第5位を受賞。2017年シャネル・ピグマリオン・デイズのアーティストに選出され「ラヴェルピアノ作品全曲演奏」をテーマに6回のリサイタルを開催。
これまでに、日本各地はもちろん、フランス、スイス、上海、ラトビア、イタリアにて演奏会を開催。また演奏のみならず「ららクラシック」などテレビやラジオへの出演、「ピアノの本」やヤマハHPにてコラムを連載するなど、多方面で活動している。
これまでに東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、ローヌ国立管弦楽団、フランス国立管弦楽団、ベルギー国立管弦楽団他と共演。
フランク・ブラレイ、上田晴子、ジャン・シュレム、パトリック・コーエン、横山幸雄、青柳晋の各氏に師事。
務川慧悟Official Site <https://keigomukawa.com/>

阪田 知樹 Tomoki SAKATA

1993年名古屋市生まれ。2021年エリザベート王妃国際音楽コンクールピアノ部門第4位入賞。2016年フランチ・リスト国際ピアノコンクール(ハンガリー・ブダペスト)第1位、6つの特別賞。第14回ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールにて弱冠19歳で最年少入賞。ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリ、聴衆賞等5つの特別賞、グリーヴランド国際ピアノコンクールにてモーツァルト演奏における特別賞、キッシンジャー国際ピアノオリンピックではベートーヴェン解釈を評価され、日本人初となる第1位及び聴衆賞。アレクサンドル・ラザレフ、ヴラディーミル・ヴァーレック、レナード・スラットキン、アンドレア・パツィストーニ、ヤーン・シュ・コヴァーチュ、ヒュー・ヴォルフ、スタニスラフ・コチャノフスキー諸氏の下、シュターツカペレ・ハレ、チェコ国立交響楽団、ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団、ベルギー国立管弦楽団、フォートワース交響楽団、NHK交響楽団、東京交響楽団、東京都交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団他と共演。東京クワルテットメンバーとの共演など室内楽奏者としても活躍。
国内はもとより、世界各地20カ国で演奏を重ね、国際音楽祭への出演多数。クレムリン音楽祭では、オール・リスト・プログラムによるリサイタルをニコライ・ペトロフ氏が「世界一のリスト」と絶賞。
幼少期より作編曲にも傾注、近年は委嘱を受け、初演の機会に恵まれている。2020年3月、世界初録音を含む意欲的な編曲作品アルバムをリリース。内外でのテレビ・ラジオ等メディア出演も多い。
東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、及び同大学を経て、ハノーファー音楽演劇大学にて学士、修士首席修了、現在同大学院ソリスト課程に在籍。「こも湖国際ピアノアカデミー」の最年少生徒として認められて以来、イタリアでも研鑽を積む。パウル・バドゥラ＝スコダ氏に10年に亘り師事。作曲を永富正之、松本日之春の各氏に師事。2017年横浜文化賞文化・芸術奨励賞受賞。



川瀬賢太郎 (指揮者)
Kentaro Kawase, conductor

1984年東京生まれ。2007年東京音楽大学音楽学部音楽学科作曲指揮専攻(指揮)を卒業。2006年東京国際音楽コンクール(指揮)1位なしの2位(最高位)入賞。2011年4月より名フィル指揮者、2019年4月より正指揮者を務める。神奈川フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者(2022年3月まで)、オーケストラ・アンサンブル金沢常任客演指揮者、八王子ユースオーケストラ音楽監督、三重県いなべ市親善大使。2015年渡邊暁雄音楽基金音楽賞、第64回神奈川文化賞未来賞、2016年第14回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第26回出光音楽賞、第65回横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞。東京音楽大学作曲指揮専攻(指揮)特任講師。2022年4月より札幌交響楽団 正指揮者に就任。

©Yoshinori Kurosawa



名古屋フィルハーモニー交響楽団
Nagoya Philharmonic Orchestra

1966年7月10日創立。「名フィル」の愛称で親しまれている。名古屋市を中心に活動し、地域の音楽界をリードし続けている。2016年4月、小泉和裕が音楽監督に就任。現在の指揮者陣には、川瀬賢太郎(正指揮者)、小林研一郎(桂冠指揮者)、モーシェ・アツモン(名誉指揮者)、ティエリー・フィッシャー(名誉客演指揮者)が名を連ねている。2020年4月、第3代コンポーザー・イン・レジデンスに坂田直樹が就任。年間約100回ほどの演奏会に出演している。

第45回名古屋国際音楽祭 2022年5月20日(金)～8月23日(火)

会場: 5/20(金)・6/16(木)・7/2(土)・8/23(火) = 愛知県芸術劇場コンサートホール 6/25(土) = 愛知県芸術劇場大ホール

5/20 金 18:45 開演
名古屋国際音楽祭 オープニング・ガラ・コンサート
～飛翔する若きピアノの巨匠たち～

7/2 土 15:00 開演
チャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラ

6/16 木 18:45 開演
小林愛実 ピアノ・リサイタル

8/23 火 18:45 開演
チョ・ソンジン ピアノ・リサイタル

6/25 土 18:00 開演
パレルモ・マッシモ劇場
プッチーニ: 歌劇「ラ・ボエーム」

※やむを得ない事情により、出演者、曲目等が変更になる場合がございます。公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットの、キャンセル・変更等はできません。
※いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。※開演後の入場については、入場制限をさせていただきます。